

>> 厳選! 豪邸実例 19

豪邸特集10周年記念対談

豪邸、過去▶現在▶未来

住み手の個性を生かして整える
豪邸のインテリア

創刊70周年記念第1号
SINCE 1951

70th
Anniversary

ML

MODERN LIVING

[モダンリビング]

豪邸、拝見! 2021

隈 研吾による
「新・住宅考」

創刊70周年記念連載 1

建築家に訊く、
これからの住居

創刊70周年記念連載 2

次世代の建築家

豪邸の最新設備2021

インテリアに自分らしさをプラスする
ビスポークアイテム

アルマーニが手掛けた
ロンドンのタウンハウス

Stay Home,
Enjoy Life.
家を楽しもう!



Magazine Cloud
電子版でも読めます

255

MARCH 2021



発表!

第16回

モダンリビング大賞

第16回モダンリビング大賞の授賞式&パーティを昨年12月9日、南青山のフレックスフォルム トーキョーにて開催しました。コロナ禍のためオンライン形式となり、スタッフはフェイスシールドを着用、視聴者はZoomにて参加するという初のスタイルでしたが、例年にも増す充実した内容で盛り上がりを見せ、エポックメイキングな授賞式となりました。

撮影 / 渋谷和江



上 授賞式&パーティ会場は昨年6月に移転オープンしたばかりのフレックスフォルム トーキョー。
下 受賞者に手渡されたトロフィー。

「モダンリビング大賞」とは?

年間6冊発行の『モダンリビング』に掲載している約100軒の住宅作品の中から、毎号の読者アンケートで最も人気の高かった作品の建築家と建て主を「モダンリビング大賞 ベスト6賞」として表彰。さらに、その中から読者投票と審査員による審査を経て「大賞」を決定。昨年からは「Under 40賞」を増設。2020年度は『モダンリビング』246号から251号が対象となった。



GUESTHOUSE P/k

長野県北佐久郡

岡田哲史

岡田哲史建築設計事務所

大自然と調和する建築

オーナーのTさんが求めたのは「自然と渾然一体の建物」。そこで岡田哲史さんは建築デザインだけでなくランドスケープまでトータルにデザインし、自然環境と建築の理想的な調和を目指し見事に実現させた。中央にLDK、東側にゲストルームが配された一部2階建てのミニマルな建物は透明感が満ち、まるで自然の中で生活しているような空間性を楽しむことができる。景色を「眺める」のではなく「体感できる」上質な空間にまで昇華させた建築である。「敷地は高低差があるので、それを建築に生かすことで家の中にも林の中にいるような、そういう空間を目指しました」。



受賞のことは

「このたびのモダンリビング大賞受賞は、読者の皆さま、そして審査員の方々の高い評価の賜物であり、大変光栄に思います。そしてなによりも大きな感謝を届けたいのは、私どもの設計内容を快く受け入れてくださったクライアントに対してです。これからも、多くの皆さまに愛される建築をつくっていきたく思います」。



ML249号掲載 撮影 / 川辺明伸

